

# 『Mind Charging』

第 119 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 9 月 24 日

## 明石家さんま(杉本高文)の名言



### 勝ち負けは『努力』の要素だけで左右されるほど甘いもんじゃないと思うんですわ。特に超一流の世界ではね。

この言葉を直接言われたとして、『そうだよね・・・努力だけでは埋められない才能の差があるから自分には無理だ・・・』とネガティブに捉えて嘆くのではなく、『でも、努力せずに勝った人はいないですよね？才能の差を上回るくらい頑張ったらチャンスありますよね？』と答えられるポジティブさが必要だと思います。努力だけでは勝てないと言われると、そう考えてしまうことが多いと思い、敢えて例文に『才能の差』と書きましたが、才能の意味を調べると『物事を巧みになしうる生まれつきの能力』とあります。生まれつき持っている能力に人によってそこまでの差があるでしょうか。時々テレビなどでも天才児などと紹介されていますが、それはごく稀なケースで実際は全体的に見れば大きな差などないと思います。

私は過去に自分の無力さに落ち込んでいた時に、先輩から『考えられることは一つの立派な才能』と教わり、まず自分の現状と足りないものについて調べ、どのように補充していくのかを考えてみました。当時はインターネットもスマホも今のように普及しておらず、自分のお手本になりそうな人の真似などをしてみたものです。そこから徐々にヒントのようなものが見つかり、少しずつではありますが課題の克服に繋がる技術などを身につけることができました。そして何より、『何とかしてみよう。きっと何とかなる！』と思えるようになりました。

考えるということは頭を使うということで、『心』というものも頭の中の自分の思考のことです。目標は誰にでもありますし、努力も誰でもします。『強い覚悟』が努力に大きな『+α』となってくれるのではないのでしょうか。人生を豊かに充実させる覚悟を決めましょう！それができるのは自分自身です！（編集委員：入試広報室 鈴木）

明石家さんま(あかしやさんま、1955年(昭和30年)7月1日 - )は、日本のお笑いタレント、司会者。吉本興業所属。本名は杉本(すぎもと)高文(たかふみ)で、番組企画・構成等では本名名義でクレジットされることもある。和歌山県串本町出身、奈良県奈良市育ち。元々は落語家を志して2代目笑福亭松之助の弟子となり、高座名・笑福亭さんまとしてデビューするが、師匠の推薦でタレントに転向し、屋号を明石家に変えた。1970年代後半から現在まで芸能界の第一線で活躍を続けている国民的お笑いスターの1人であり、ビートたけし・タモリと並び「お笑いBIG3」の1人に称される。(Wikipedia 参照)